

大崎晴地

Haruchi Osaki

TRANSITIONAL ITEMS

愛知県立芸術大学アーティスト・イン・レジデンス 2019

“transitional items”

2019年11月8日(金)～11月14日(木) ※月曜休館

12時～19時

愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA

アーティストトーク：11月8日(金)16時～

入場無料

“エアートンネル”

2019年11月20日(水)～11月22日(金)

13時～16時半

愛知県立芸術大学芸術資料館

トークイベント：11月21日(木)14時～ ゲスト：馬場駿吉氏(愛知県立芸術大学 客員教授)

入場無料

ワークショップ 「transitional items (過渡的なアイテム)を作ろう！」

2019年11月28日(木)13時～

愛知県立芸術大学旧音楽学部棟楽器庫

入場無料

主催：愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 企画：愛知県立芸術大学 社会連携センター

大崎晴地 transitional items

「愛知県立芸術大学アーティスト・イン・レジデンス2019」の大崎晴地のプログラムを開催します。

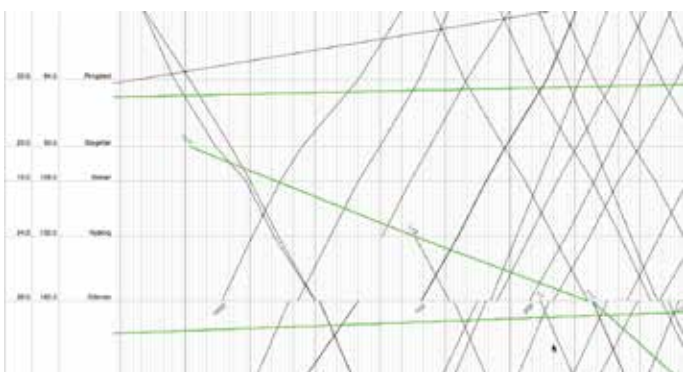
タイトル "transitional items" は、今回の愛知滞在中に出てきた言葉です。子どもの頃に肌身離さずに手にする毛布などを「移行対象」(transitional object) と言いますが、作者は幼少期に身の回りにあるモノをブリコラージュして、様々な「アイテム」(当時の呼び名)を制作してきたことを想起し、現在の触覚的な作品や道具的、規格的なあり方をした作品との連続性に気づきました。

中間報告展では、代表作である層状に重なった布の中に潜る《エアートネル》(2013) に関連したインスタレーションと、個人的な体験を共有するための体験型オブジェクト、近作である鉄道ダイヤをモチーフとした《無人島スペクトラム》(2019) のシルクスクリーンなど、実験的な試作を展示します。また後半では愛知県立芸術大学内にある芸術資料館にて《エアートネル》を公開し、馬場駿吉氏をゲストに迎えたトークイベントを実施します。最終回は、身体感覚や触覚を促す作品の可能性を探るワークショップを行います。

きわめて個人的な体験にもとづく対象がいかに他者と共有した媒体となるか、プログラムを通して是非お楽しみください。



《air tunnel》(内観) 2013 photo : Yuka Ikenoya (YUKAI)



《無人島スペクトラム》動画 (部分) 2019

■中間報告展 “transitional items”

【会 期】 2019年11月8日(金)～11月14日(木) 入場無料 ※月曜休館

【開館時間】 12時～19時

【会 場】 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA

(名古屋市東区東桜1-9-19 成田栄ビル地下1階)

★アーティストトーク：11月8日(金) 16時～

■展示およびトークイベント “エアートネル”

【会 期】 2019年11月20日(水)～11月22日(金) 入場無料

【開館時間】 13時～16時半

【会 場】 愛知県立芸術大学芸術資料館 (愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114)

★トークイベント：11月21日(木) 14時～

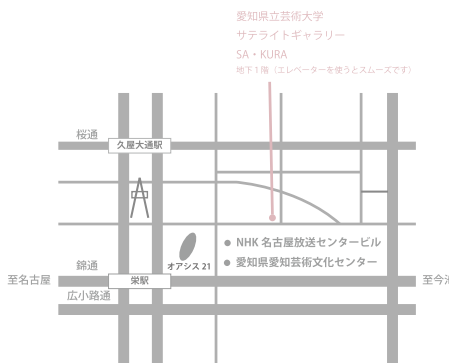
ゲスト：馬場駿吉氏 (愛知県立芸術大学客員教授)

■ワークショップ 「transitional items (過渡的なアイテム) を作ろう！」

【日 時】 2019年11月28日(木) 13時～ 入場無料

【会 場】 愛知県立芸術大学旧音楽学部棟楽器庫

(愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114)



愛知県立芸術大学
サテライトギャラリー SA KURA
アクセス：
市営地下鉄東山線又は
名城線「栄」駅より徒歩6分
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩5分
市営地下鉄桜通線又は
名城線「久屋大通」駅より徒歩7分
お問い合わせ：
TEL/FAX 052-212-9316
URL <https://www.aua-sakura.com/>



愛知県立芸術大学

アクセス：

◆名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、

東部丘陵線(リニモ)に乗り換え

「芸大通」駅下車、徒歩約10分

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅

又は「藤が丘」駅からタクシーで約15分

◆豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、

東部丘陵線(リニモ)に乗り換え

「芸大通」駅下車、徒歩約10分

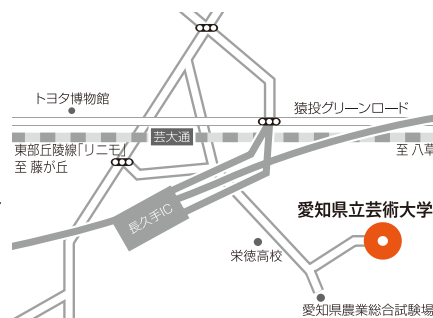
お問い合わせ：

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

TEL 0561-76-2851 (受付時間平日 9:00～17:30)

URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

・駐車場の準備はございませんので、公共交通機関をご利用ください



作家略歴

大崎晴地

1981年、東京生まれ。美術家。博士(美術)。心と身体、発達のリハビリテーション、精神病理学の領野にかかわりながら作品制作、研究活動をしている。2014年、東京芸術大学大学院美術研究科博士課程修了。主な展示に「Between figure and contour」3331Arts Chiyoda, 東京(2019)、「HYPER-CONCRETENESS—フィクションと生活」京島長屋, 東京(2018)、「RebornArt Festival (Reborn-Art Walk)」宮城(2017)、「新しいループ・ゴールドバード・マシーン」KAYOKO YUKI・練馬倉庫, 東京(2016)等。「障害の家」プロジェクト主宰。HP:<http://haruchiosaki.com/>